



運動習慣、運動意欲を高める体育学習の展開

体育・保健体育学習については、「心と体を一体として捉え、生涯にわたって心身の健康を保持増進し豊かなスポーツライフを実現するための資質・能力を育成すること」が目標として学習指導要領に示されています。

小学校期、中学校期それぞれの時期に必要な活動があり、子どもたちが「やらされている」と思って活動するのではなく、「またやってみたい」「もっとやってみたい」となるような学習内容を計画・実施するようにしていきましょう。

令和8年度 千葉県教育委員会 体育・保健体育指導の重点目標

- (1) 豊かなスポーツライフの実現に向けた体育指導の充実
- (2) 健康の保持増進のための実践力の育成
- (3) 食に関する指導の充実
- (4) 安全教育の充実

目標を達成することは大切なことですが、目標を達成するためには準備や段階的な学習計画が必要となります。子どもたちの実態を理解することで、課題を見極め、どのような活動が必要なのかを判断し、指導計画を作成していくと子どもたちが意欲的に運動に取り組むことができます。

以下に示す、重点目標達成のための具体策を、自校の実態と照らし合わせて運動習慣、運動意欲を高める体育学習の展開に努めてください。

(1) 豊かなスポーツライフの実現に向けた体育指導の充実

①主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善

- ・課題解決のための見通しを提示し、他者との協働的な学びを通して、試行錯誤させる授業
- ・体育の授業において「運動が楽しい」と実感し、運動することへの意欲化を図る授業

《参考資料》

○令和8年度学校体育要覧



○学校体育指導資料第38・39集



指導資料の積極的活用を！

②日常的な運動習慣の形成

- ・体育学習以外の運動機会を意図的に増やす
- ・「遊・友スポーツチャレンジちば」への積極的な取組

☆体力テストの結果などから児童生徒の実態を的確に把握し、課題に応じて対策を講じていく

(2) 健康の保持増進のための実践力の育成

①保健教育の推進

- ・心身の発達及び学校の実態に応じた学校保健計画を作成
→保健主事・養護教諭等を中心として、学校の教育活動全体を通して行う
- ・体育・保健体育などの教科学習を中核として、発達段階に応じた保健教育の推進に努める
→「性に関する指導」「薬物乱用防止」「AEDの利用を含む心肺蘇生法」等

②学校における薬物乱用防止教室の開催を促進し、薬物乱用防止教育の一層の指導の徹底

＜薬物乱用防止教室実施率＞

小学校	中学校	高等学校
59.2%	74.6%	73.5%

資料：文部科学省「令和5年度における薬物乱用防止教室開催状況調査」から

③「いきいきちばっ子健康・体力づくりプログラム」いきいきちばっ子「元気アップ・プラン大作戦」コンクールの周知や活用を推進

(3) 食に関する指導の充実

①「地域における食育指導推進事業」を通じた実践力の向上と指導者の育成

- ・栄養教諭・学校栄養職員や外部の専門家等と連携し、地域の食材や学校給食を活用した食育の充実

②「いきいきちばっ子」学習ノートの積極的・効果的な活用の推進

(4) 安全教育の充実

①心身の発達に応じた安全教育（生活安全・交通安全・災害安全）の推進

- ・学校安全計画に、児童生徒の発達段階に応じた安全教育を位置付け、計画的に実施

②生命（いのち）の安全教育の推進

- ・安全教育に、「生命の安全教育」を位置付け、文部科学省作成「生命の安全教育教材」を活用した指導を、年間を通して計画的に実施
→5月の「生命の安全教育強化月間」においては、水泳指導前の時期であること等を踏まえ、確実な実施を図る。
- ・文部科学省作成「生命の安全指導の手引き」及び千葉県教育委員会作成「生命の安全教育に関する学習内容等一覧」等を参考に各教科等との関連を図る。



＜資料紹介＞



文部科学省
「生命の安全教育」



千葉県教育委員会
「生命の安全教育に関する学習内容等一覧」

生命（いのち）の安全教育に関する学習内容等一覧	
学習内容	学習内容
①-学習に関する内容 ●「生命の安全教育」に関する学習内容 ●「生命の安全教育」に関する学習内容 ●「生命の安全教育」に関する学習内容	②-生活に関する内容 ●「生命の安全教育」に関する学習内容 ●「生命の安全教育」に関する学習内容 ●「生命の安全教育」に関する学習内容